

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科
科目名称 [英語名称]	教科教育法(音楽) [Teaching Methodology for Music]				実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750095	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次
教員氏名	早川 純子				学位授与の方針 との関連	DP1(1) DP1(2) DP2(1) DP3(2) DP3(3)	
授業概要	この授業の目的は、初等教育における音楽科教育の目標、各領域の指導内容、教材、指導計画、評価方法について理解し、音楽科の授業を構成し実践するために必要な基礎知識と実践力を身につけることである。学習指導要領、および音楽教育史の概観を行うと共に、教材研究を含めた歌唱、器楽、音楽づくり、鑑賞の各活動に関する指導方法を習得する。歌唱活動の模擬授業を通して、授業内容だけでなく児童と関わる姿勢についての理解を深める。また、指導上必要となる初等音楽の基礎知識、基礎技能について整理確認し、指導実践の基を確立する。						
関連する科目	事前に「音楽」を受講し、楽典やソルフェージュの学習によって、楽譜の読み方を把握し視唱・視奏などの実践できていることが望ましい。また、「音楽演習A」および「音楽演習B」の受講を通して、ピアノ実技の基礎力を身につけ、鍵盤奏に習熟していることが望ましい。						
授業の進め方と方法	毎回の授業において、理論と実技を行います。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半で、発達段階を踏まえた指導理論と指導方法を学び、後半で歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の指導法を実践的に学習します。						
授業計画	<p>第1回: 音楽科教育の目的と意義 音楽教育と音楽科教育の違い、および音楽科教育の目的を理解します。</p> <p>第2回: 歌唱指導 第3回: [共通事項]について 第4回: コードと簡易伴奏法 第5回: 鑑賞指導・器楽指導 第6回: 音楽づくり指導 第7回: 指導案の構成 第8回: ゲストスピーカーによる講演と演奏 音楽科の指導法についての理論と方法を学習し身につけます。</p> <p>第9回: 模擬授業①および合唱練習 第10回: 模擬授業②および合唱練習 第11回: 模擬授業③および合唱練習 第12回: 模擬授業④および合唱練習 第13回: 模擬授業⑤および合唱練習 第14回: 模擬授業⑥および合唱発表会 第15回: 模擬授業⑦ 模擬授業を通して、前半で学習した指導法を体得し、実践力を養います。</p>						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校学習指導要領、および音楽教科内容を正しく理解する。 2. 表現(歌唱・器楽・音楽づくり)および鑑賞の学習内容に必要な基礎知識と実技力を身につける。 3. 学習指導案の作成と模擬授業を通し、実践力を養う。 4. 自らの適性と個性を把握し、独自の感性と実技力を生かしたオリジナルで魅力的な授業づくりを目指す。 <p>* 指導案の提出と模擬授業、および合唱参加、その他課題の提出を課す。</p>						
授業時間外の学修	初等音楽科教育法の活動内容について、および割り当てられた楽曲(歌唱共通教材: 模擬授業と伴奏試験で使用、もしくは鑑賞教材)に関する図書や雑誌などを調べたり、授業で示された課題に取り組むこと。						
課題に対するフィードバック	テストや課題は、評価後に返却および解説をします。	評価方法			受講態度: 45%、指導案: 15%、模擬授業: 15%、合唱発表参加: 5%、課題①: 5%、課題②: 5%、試験(歌唱共通教材ピアノ伴奏): 10%		
テキスト	初等科音楽教育研究会『最新 初等科音楽教育法[改訂版] 小学校教員養成課程用』(音楽之友社)						
参考書	『小学校学習指導要領解説 音楽編』(文部科学省)						
備考	多くのピアノ伴奏の経験を有し、小学校低学年のTT経験のある教員が担当します						